

令和7年度 第1回八雲町総合開発委員会議事録（要旨）

【開催日時・場所】

令和7年9月30日（火） 午後1時30分～午後3時20分
八雲町役場3階 議員控室

【出席者】

別紙のとおり

【議題】

1 開 会

2 委嘱状交付

八雲町社会福祉協議会 副会長 戸田氏への委嘱状交付

3 町長あいさつ

本日は大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

任期中の12年間色々やってきました。本当に良かったのかと色々と反省しておりますが、22日の任期満了まで八雲町のために頑張っていきたいと思っています。今後、町内で見かけることがありましたら気軽に声を掛けてください。

本日の総合開発委員会は、有意義なものになるよう審議できればと思います。会議終了後に醸造用ぶどう圃場の視察も予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 会長あいさつ（大野会長）

日中は何かとお忙しい中委員の皆様にはお集りいただき誠にありがとうございました。

早いもので今日は9月末で明日から10月に入ります。あと3か月で正月が来るというような状況です。また、最近ようやく暑さが落ち着き朝晩寒くなってきましたので、委員の皆様方は体には十分に気をつけていただきたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

5 報告事項

（1）第2期総合計画 令和6年度事業費・実施内容、KPI進捗状況の評価について

事務局より説明

【佐藤委員】

6ページ 防災体制の強化の災害備蓄品整備事業について。住民の命に関わる幅が広い内容であると思います。今までの年次計画で整備されたものも含めて災害備蓄品は各避難所に備え付けられているのか、もしくは役場等といった施設に集中的に管理されているのでしょうか。

先日、津波警報が発令され日本列島を揺るがしたわけですが、その際に避難された方も自宅で待機された方もいらっしゃると思いますが、その時の状況を教えていただきたい。

また、町長の肝いりで危機対策課を設置していますが、進捗状況を教えていただきたい。夏の暑い時期の避難所の対策もありましたら教えていただきたい。

【田中危機対策課長】

まず、災害備蓄品の配備状況ですが現在、八雲地域、熊石地域、落部地域に分散して配備しています。先日のカムチャッカ半島地震による津波警報のこともあり、今後は分散備蓄の方向で検討していかなければならないと考えています。備蓄品については、家庭内で備蓄していただく家庭備蓄や企業が保有する流通備蓄のほか、家庭内で備蓄が困難な発電機やパーテーションといった避難所の生活環境向上のための行政備蓄があります。町では、扇風機、投光器、ストーブといった高額な設備や段ボールベッド、衛生用品（子供用おむつ、生理用品）や食料品（アルファ化米、飲料水）等を備蓄しています。

今回のカムチャッカ半島地震による津波警報が発表された際の避難状況の検証作業を行っている最中ですが、開設した避難所は8箇所、最大避難者数は867人と現時点で把握しています。実際のところ町が指定した避難所以外にも高台に逃げた方もいらっしゃるかと把握しきれていないところもございます。

危機対策課の進捗状況としましては、令和6年4月1日に課が立ち上がりました。最初に取り組もうと考えたのは人材の育成です。まず、ソフト対策という形で町民の方々に防災意識を持っていただき、町に協力していただけるような地域防災リーダーを育成しようということで、8月にやくも防災ネットワークを立ち上げ、核となる防災リーダーの活躍の場、学びの場を作りました。

熱中症対策についてですが、能登半島地震、東日本大震災発生時には寒い時期でしたが、今回のカムチャッカ半島地震では暑い時期に発生し、避難所にはエアコンが無く避難された方は大変暑い環境だったと思いますので、避難所の生活環境改善ということで寒さ、暑さ対策が今後のテーマになります。国や道の補助制度を活用しながら限られた財源の中で計画的に整備していきたいと考えているところです。

【佐藤委員】

14 ページ 木彫り熊 100 周年記念事業についてですが、映像記録を作成したとのことですが、どのような内容でしょうか。

【佐藤社会教育課長】

映像については、番組放送するということから限られた時間ではございますが24分の映像を作成しました。内容は大きく4パートに分かれていまして「八雲町と徳川家」、「八雲町とスイス」、「八雲町の作家たち」、「八雲町の今」で構成されています。

【佐藤委員】

映像はもう完成したのでしょうか。

【佐藤社会教育課長】

映像は完成しており、昨年8月31日の100周年記念トークイベントを開催した際にテレビ放送されました。その翌日もイベント会場で映像を放映しました。その後、DVDとしてパート毎に分かれた映像が納品されており、現在は資料館や図書館で見えていただくことが可能です。また、映像の時間を1分から長くても3分ほどに見やすく編集した映像をYouTubeで公開しており、町ホームページから見るすることができます。

【稗田委員】

水産資源について伺います。コンブ資源増大事業と秋さけ資源増大対策事業がありますが、今の現状だと放流数を増やしているだけだと思う。藻場造成のためのアルガリーフとかそういう材を投入している状態だと思います。その本当の原因は、再生産というか昆布が育たない、サケが繁殖できない、そういう仕組みが全部失われているので復元しなければならない、そういう視点での取り組みが必要なんですよ。先日の委員会でも、河川の問題を取り上げたら、それは道がやる事業ということで議論を拒否されてしまった。非常に多岐にわたる問題なので分科会でやるべきだということも提案しましたが、それもしないということなので、そうであればこの委員会でやらなければいけないです。

川と沿岸に泥水の影響がすごく強く出ている。泥水が出た後は水がきれいになるが、川底は泥をかぶって固まっている。それで秋にさけが卵を産んでも湧き水で育ったさけの稚魚は上に出て来れずに川底の石の間で死んでしまう。それから卵自体も育たないですし、そういうふうになっちゃった。それを完全に改善しなければ解決することはできないです。この場で取り上げて議論する方向性を決めていきたいと思いますがいかがでしょうか。

【吉田水産課長】

コンブ資源増大事業、秋さけ資源増大対策事業に係りまして河川の環境整備が優先ということで泥水が影響しているということでございますが、この問題を分科会で取り上げるかどうかは私の口から何とも申し上げられません。状況といたしましては、コンブ資源増大事業は、令和2年から山越地区と落部地区でアルガリーフという漁礁を整備させていただいております。これは、北海道が事業主体で行っているもので、地元負担金として事業費の10%を町と漁協が折半して負担してございます。コンブが年々取れなくなっている中で漁場の整備を目的としております。落部と八雲両漁協からの要望をもちまして道が事業を実施しており、令和2年から令和6年まで350基ほど整備されてございます。令和5年、令和6年に海藻類の繁茂状況を調査したところ海藻類は100%の繁茂状況で、その内コンブについては約80%の漁礁にコンブの着床がみられたという状況でございます。また、これら以外にホヤやナマコなどの動物類の生息も確認されておりますし、アイナメやメバル類の稚魚なども確認されておりますことから、現在は十分に施設整備の効果が発揮されています。

秋さけの増大事業に係る取り組みにつきましては、北海道と北海道さけます増殖事業協会が実施しているものです。ここ3年程さけが獲れなくなっております。平成19年あたりと昨年の漁獲量を比較すると約60分の1まで大きく減少しており、とくに直近3年間の減少が著しいという状況です。稗田委員もこれまでの長いフィールドワークの中で色んな自然環境の変化を肌で感じられているかと思いますが、北海道でさけ資源の来遊数が減少した大きな要因としては海水温の高温化であると捉えています。一般

的には、秋に採卵し翌年の3月頃から順次稚魚を放流していますが、海水温が以前より高くなっており、13度を境に海におけるプランクトンの生息状況が変化します。つまり、さけの稚魚が利用していたプランクトンが、海に下った頃には食べられるものがないという状況が原因なのでは、というのが推測のひとつです。もう1点は、親魚が帰ってこないのは、こちらも海水温の影響を受け20度を境に沿岸に寄り、寄らないといったことは、漁業者も肌身で感じているところでございます。最近の話題として、黒潮の蛇行が今年春に収まったという話題があったかと思いますが、昨年までは黒潮の蛇行の端の方が噴火湾の入り口付近に停滞しており、その影響で海水温も26度を大きく上回るような日が10日程続いたという状況です。海洋熱波という新しい言葉も出てきていますが、これらが沿岸へのさけの来遊を阻んでいると聞いています。確かに、泥水は魚類にとってよくないものではございますが、泥水がこの数十年前まで無かったかという、そうではありません。雨が降れば泥濁りもします。色々ご意見があるかと思いますが、増殖事業協会では、こういった河川や海の状況なども確認しながら放流されていますので、ご理解をお願いしたいと思います。

【稗田委員】

さけの資源量についてですが、放流したさけが海に行くまで100放したものが100行っているかどうか専門家は確認していない。春先の泥水が多い時期に放流している。泥水は自然のもので昔からあったというお話ですが、昔は大きな雨が降った時に濁った、山の扱いが悪い時に濁ったという一過性だったのが今は異なり常態化しています。40mm、60mmでもすごい泥水。繰り返しの泥水の沈殿、河床に沈殿する影響は計り知れない。そこを専門家はやっていない。アルガリーフの活着率が100%というのは、調査1年目だけなんですよ。長期間でやっていくとおそらく着かなくなる。なぜかと言うと、コンブ養殖のアルガリーフの基質というのは石肌で、むき出しのものを海底に投入するとコンブの胞子がくっついて根を張ることができるから伸びるわけですが砂地にはコンブは生えていない。泥水を被ると砂を被ってしまうから育たない。

【岩村町長】

さけもコンブも八雲町だけが獲れなくなっているという状況ではない。北海道や漁協などの団体が研究し、水産試験場も関わりながら行っている。この場でコンブのことを詳しく話をしても分からない方が多いため議論すべきではないのでは。稗田さんの意見は北海道や専門機関と共有しますのでよろしくお願いします。

(2) 第2期総合戦略 進捗状況報告（令和6年度末）について

事務局より説明

6 その他

【大野会長】

岩村町長が総合開発委員会の出席が最後でございますので、私の方から岩村町長に一言お礼の挨拶を申し上げたいと思います。

岩村町長におかれましては、三期12年の長期にわたり八雲町の発展にご尽力されてまいりました。民

間経営で培った経験を活かし、自ら町のトップセールスマンとして、全国へ八雲町の魅力ある情報を発信し、企業誘致や若い世代の雇用を広げ、町の活性化や財政基盤の強化を掲げ、三期 12 年間駆け抜けてまいりました。12 年間の町長の実績は数限りあると思いますが、主なものとしては、他に類をみない、ふるさと納税の実績、青年舎や木蓮など、新たな企業のスタイルの確立、有名企業との関係構築、二海サーモン事業など新たな町のブランド作りなども、その功績は枚挙にいとまがありません。これまで、365 日、24 時間、激務を全うした町長ですが、暫しの休息の時間を取っていただきたいと思います。今後とも、八雲町民の別な角度から見守っていただきたいと思います。本当に長い間、ご苦勞様でございました。ありがとうございました。

【事務局】

現第 10 期総合開発委員の任期が令和 8 年 1 月までとなります。産官学金労言といった農協や漁協を始めとした産業団体、町、教育機関、金融機関、労働組合、メディアなど様々な主体の代表である皆様と、引き続き八雲町の産業経済、福祉、教育など住民福祉の向上に資する各種政策について総合的に審議し、御意見をいただきたいと思います。構成委員の皆様には後日改めて第 11 期総合開発委員の就任のお願いをさせていただきますので何卒よろしくお願いいたします。

また、各団体の役員構成等の変更に伴い、委嘱している方に変更が生じる場合は事務局宛てにご連絡いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

一般公募の委員につきましては、町広報およびホームページにて募集を行います。

7 閉会

■ 醸造用ぶどう圃場（三杉町）現地視察 14：50～15：20

令和7年度 第1回八雲町総合開発委員会出席者名簿

No.	区分	氏名	所属	備考
1	委員	大野 尚司	八雲町町内会等連絡協議会	
2	委員	近藤 安幸	八雲商工会	
3	委員	小林 孝子	八雲商工会女性部	
4	委員	影浦 義和	新函館農業協同組合北渡島運営委員会	
5	委員	梶田 孝女	JA新はこだて女性部八雲支店女性部	
6	委員	久保 扶佐子	八雲町漁業協同組合女性部	
7	委員	戸田 孝雄	八雲町社会福祉協議会	
8	委員	菅野 淳也	連合北海道八雲地区連合会	
9	委員	古澤 新一	八雲町スポーツ協会	
10	委員	杉浦 則昭	北海道労働金庫八雲支店	
11	委員	長谷部 修	一般公募	
12	委員	佐藤 馨	一般公募	
13	委員	稗田 俊一	一般公募	
14	委員	梅津 隆二	一般公募	
15	町	岩村 克詔	町長	
16	町	成田 耕治	副町長	
17	町	西田 浩人	教育長	
18	町	竹内 友身	総務課長	
19	町	田中 智貴	危機対策課長	
20	町	川崎 芳則	財務課長	
21	町	戸田 淳	政策推進課新幹線・公共交通参事	
22	町	石黒 陽子	保健福祉課長	
23	町	池田 裕史	建設課長補佐	
24	町	松田 力	建設課管理係長	
25	町	横田 盛二	環境水道課長	
26	町	井口 貴光	商工観光労政課長	
27	町	吉田 一久	水産課長	
28	町	石坂 浩太郎	農林課長	
29	町	佐藤 真理子	社会教育課長	
30	町	田村 春夫	地域振興課長	
31	町	竹内 伸大	八雲町総合病院事務長	
32	町	川口 拓也	政策推進課長	事務局
33	町	宮下 洋平	政策推進課長補佐	事務局
34	町	植木 靖恵	政策推進課政策企画係長	事務局
35	町	吉原 匠	政策推進課政策企画主任	事務局